

## 〈神戸オックスフォード日本学プログラム〉Ⅱ期生修了式

報告：松本 曜

神戸大学は2011年にオックスフォード大学と学術交流協定を締結しましたが、それと同時に神戸大学文学部とオックスフォード大学東洋学部との間で「神戸オックスフォード日本学プログラム（略称 KOJSP=Kobe-Oxford Japanese Studies Program）」が開始されました。このプログラムは、オックスフォード大学東洋学部日本語専攻の2年生全員が1年間（正確には10ヶ月間）を神戸大学文学部で学習するというもので、神戸大学文学部・人文学研究科とオックスフォード大学東洋学部の間の、綿密な連絡・連携のもとに実施されています。今回が2年目となるこのプログラムでは、12名の学生が午前中には日本語の授業に出て、午後には文学部の様々な授業に他の学生と一緒に参加しています。特に、全員が参加する課題演習授業「KOJSP 演習」では、各自が自由に課題を選んで、指導教員、学生チューターと共に日本の諸相についての研究を進めています。

現在、今年度のこのプログラムも終わりにさしかかっており、平成26年7月30日（水）には、2期生の修了発表会と修了式が行われます。修了発表会（13時半開始）では、参加オックスフォード大学生が、「KOJSP 演習」での研究成果を、10分間の日本語プレゼンテーションで発表します。その後の修了式（16時半開始）には、神戸大学側からは学長、文学部・人文学研究科教員、オックスフォード大学側からは3名の教員と日本事務所代表が出席し、学生にプログラム修了証が授与されます。全てのプログラムを終えた2期生は8月にイギリスへと帰国します。その後、オックスフォード大学での3年次と4年次の勉学に進み、卒業論文に取り組むことになります。

次の3期生は平成26年10月に来日する予定で、準備が進められています。

このプログラムは参加している学生にとって意義深いものとなっています。今回修了する一人のオックスフォード大学生は、1年を振り返って、次のように述べています。「この留学のおかげで、私は...一生忘れない人に出会い、将来のことを改めて考える機会が与えられた。日本を離れるのは辛いですが、この留学をとおして培った自分の観点から、自分の国を新しく経験し発見していきたいと思う。こうした留学を心からみなさんにお勧めします。」

このプログラムは、文学部の学生にも大きな影響を与えています。オックスフォードの学生と日本の学生が話をしている姿を、キャンパス内でよく見かけるようになり、キャンパスの国際化に貢献しています。また、夏に行われるオックスフォード大学での英語・イギリス文化研修など、海外体験への関心が高まっています。

文学部・人文学研究科では、このプログラムをきっかけとして、オックスフォード大学東洋学部とのさまざまな交流を展開しています。たとえば、日本研究に関する頭脳循環プログラムの一環として、オックスフォード大学への若手研究者の派遣が行われる予定で、教員間の学術的交流も進んでいます。今後さらなる進展が期待されています。